



平成27年2月5日

各 位

会 社 名 株式会社 フジシールインターナショナル
代 表 者 名 代表執行役社長 岡崎 成子
(コード番号 7864 東証第一部)
問 合 せ 先 フジシールインターナショナル本部
I R グループ グループ長 若杉 哲
(TEL 03-5208-5902)

通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成27年2月5日開催の取締役会において、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成27年3月期通期連結業績予想の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

平成26年5月8日に公表いたしました平成27年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

(1) 連結業績予想の修正の内容

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	129,000	9,700	10,100	5,900	208.32
今回修正予想(B)	131,000	9,500	9,700	4,400	155.15
増減額(B-A)	+2,000	△200	△400	△1,500	
増減率(%)	+1.6	△2.1	△4.0	△25.4	
(ご参考)前期実績 平成26年3月期	121,015	9,603	10,047	5,410	191.03

(注) 上記「1株当たり当期純利益」は、平成27年3月期第3四半期連結累計期間の期中平均株式数により算定しております。

2. 修正理由

(1) 売上高

日本及び欧州を中心に当初予想を上回る見込みであります。

(2) 営業利益及び経常利益

PAGOにおいて、販売単価の下落及び生産改革の遅れにより営業損失が拡大するため、当初予想を下回る見込みであります。

(3) 当期純利益

下記のとおり特別損失の計上を見込んでおり、当初予測を下回る見込みであります。

3. 特別損失の計上について

(1) Fuji Seal Poland Sp. zo. o. (ポーランド)における火災事故について

平成26年12月11日及び19日に公表いたしました「当社連結子会社の火災事故発生に関するお知らせ」でお知らせしておりますとおり、Fuji Seal Poland Sp. zo. o. (ポーランド)で発生した火災事故につきましては、この火災事故発生以降コンティンジェンシープランを発動し、製品供給体制については、連結子会社及び現地協力先への生産移管が整いつつある状況であり、また、現在は当該生産設備の一部は操業を再開しております。

この火災事故による損失額につきましては現在調査中ですが、焼損した棚卸資産及び建物、機械装置等の資産の損失額として、概算価額で約18億70百万円（約55,700千ズローチ）の特別損失を計上する見込みであります。

なお、当該火災損失には保険を付保しており、平成27年3月期は火災による損失と同額の保険金収入による利益を見込んでおります。これにより連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、保険金収入確定のタイミングに遅れが生じた場合、損失が先行して計上され当期純利益が変動する可能性があります。

(2) PAGOのリバイバルプランについて

PAGOの収益力改善を目的とした欧州におけるタックラベル生産体制の再構築を進めるためのリバイバルプランを決定し、平成27年3月期において当該リバイバルプランによる費用として約13億60百万円（約9,700千ユーロ）を特別損失に計上する見込みであります。

4. 配当予想について

平成27年3月期の配当予想につきましては、平成26年5月8日に公表いたしましたとおり、1株当たり42円を予定しております。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上